

文字の組み合わせ方には、二つのタイプがあります。

「会意」というのは、意味を組み合わせるという意味です。“家”という意味と“子”という意味を組み合わせたものが「字」、 “人”と“木”とで「休」という意味を表すという字だということは前にも書きました。“木”を二つ組み合わせ、木がたくさんあるところ、つまり「林」という意味を示します。



「武」とか「信」とか「義」とかというような非常に抽象的な文字もあります。

「武」という字は“戈(ホコ)”という字と“止める”という字を組み合わせたものです。戈というのは戦いの道具ですから、戦のことを「干戈」、これは「盾」と「戈」という意味ですが、戦争の意味に戈という字は使われてい

ます。

つまり戦争を止め、抑止力になるのが武力であることになります。武力というのは本来は闘うための道具ではないのです。戦争を防止するため、戦争が起こらないようにするための備えが「武」です。

軍というのは敵国を侵したり、戦争を起こす手段ではなくて、国を守る、敵に侵されないようにすることです。軍備をしっかりと整えておけば、悪い国があっても決して野心を起こさない、攻めては来ない、つまり軍備というのは戦争の抑止力を持ったものなのです。そういう真味でつくられたのが「武」という字です。「武」は戦わざるをもって理想とします。

「信」というのは人の言葉と書きます。人の言葉に嘘偽りがあれば、もうその価値はなくなります。言葉というものは真実を表してこそ価値があるわけです。そういう人と言葉というもので「信」、本当の心の大きさを表す、真心を表すのが「信」という字です。

「義」というのは“我を美しくする”という意味の字です。上の字は「羊」という字ですが、羊の下に大という字を書くと「美」という字になります。

つまりこの羊という字は、美しいことを表すわけです。我を美しくさせるもの、人間でいちばん立派だなと尊敬されるような人、その人の寄って立つところのものを「義」というのです。

漢字というものは、その言葉の意味を表すように組み立てられていますが、このように二つの字によって一つの別な意味が表される、これが「会意」です。